

バングラデシュ経済ニュース (2015年12月)

マクロ経済 産業動向	<p>(1) 【3日 Daily Star 紙】 Petrochemical Company 社は、バングラデシュ初となるペットボトルのリサイクル事業に乗り出した。同事業の総工費は6億6,000万タカであり、この内4億5,200万タカはIDCOLとTrust Bankから提供された。同社は10月より同事業を開始しており、年間5,500トンの処理能力を有する。またバングラデシュにおけるペットボトル需要は100,000トンに達すると言われていたことから、同社は来年には処理能力を11,000トンにまで引き上げる予定。</p> <p>(2) 【6日 Daily Star 紙】 ロンドンに拠点を置くBMI Research社の調査によれば、バングラデシュにおけるジェネリック医薬品の販売額は、2024年には現在の3倍の規模に当たる3,030億タカに達する見込み。これは11月6日にWTO-TRIPS Councilが、2033年まで医薬品の特許やデータの保護対象から途上国を除外することを決定したことが、主な要因。更に現在、医薬品生産の内95%は国内市場向けだが、医薬品輸出も今年度当初5か月間(2015年7月～11月)では前年同期比11.02%増の2億6,700万ドルに達している。</p> <p>(3) 【14日及び15日 Daily Star 紙】 12日から15日にかけて世界銀行のKaushik Basu 副総裁がバングラデシュを訪問。この訪問の中で、「バングラデシュはまさに高度経済成長に向けた離陸 (take off) の時を迎えており、やがて新しい“アジアのタイガー”と呼ばれる日も近い」と経済的潜在性を高く評価する一方、「その為にもインフラの整備と投資環境整備が大きな課題である」と指摘した。</p> <p>(4) 【19日 Financial Express 紙】 2014年12月15日からの1年間で、バングラデシュにおける発電量は1,229MW増加し11,877MWに達した。政府関係筋は、発電量の改善を指摘しながらも、送電設備や送電能力の問題を強調した。</p> <p>(5) 【20日 Financial Express 紙】 ニューヨーク大学は、バングラデシュの縫製産業に対する調査を実施し、従来、同産業には3,600社が存在すると言われていたが、下請けの中小・零細企業まで含めると、その数は7,000社に上ることを明らかにした。更に同調査では、このような下請け業者の多くは、欧米バイヤーの求める安全基準は適用されておらず、安全性に対するリスクが高いことも浮き彫りとなった。</p> <p>(6) 【21日 Financial Express 紙】 消費者のホルマリン使用に対する懸念から、都市部の市場では生きた魚の販売が広がっている。特に在来種の魚は生命力が強いことから、</p>
---------------	---

	<p>生きたまま販売されている。魚業者によれば、生きたまま魚を販売すると費用は10%高くなる一方、1kg当たり60～100タカほど高く売れる為、利益は20～25%ほど高くなるとのこと。</p> <p>(7) 【23日 Daily Star 紙】 政府による Facebook やソーシャルネットワークの利用禁止の影響で、携帯電話によるインターネット接続者数が急落した。2015年11月末は5,140万人で、前月末より863万人減少した。政府は治安上の理由から11月18日から12月10日までの22日間、Facebook やソーシャルネットワークへの接続を制限していた。</p> <p>(8) 【25日 Financial Express 紙】 タイやシンガポールで治療を受けていたバングラデシュ人は、それらの国より30～40%より安い価格で、同様の治療をマレーシアで受診することが可能である。バングラデシュを訪問中のマレーシア政府保健省局長は、マレーシアの約200の病院がバングラデシュ人を受入れる準備は整えており、今年は2万人の医療ツーリズムの受け入れを目指す、との見解を示した。</p> <p>(9) 【27日 Financial Express 紙】 25日、バングラデシュ原子力委員会とロシア企業は、バングラデシュ初の原子力発電所の基本設計に関する合意書に署名をした。同発電所はPabnaに建設予定で総発電量は2,400MW。2022年までに1,200MWを、2023年までに残りの1,200MWの発電を開始する予定。(総工費は1,265万ドル)</p> <p>(10) 【28日 Financial Express 紙】 石材の値上がりにより、主要インフラ事業は遅延の危険に直面している。環境配慮からシレット等の主要採石場における採石が規制された他、インド政府も石材の輸出を規制している。このような背景から石材価格は数カ月前より30%近く値上がりしている。土木関係者は、このような石材価格の高騰は、ダッカ～チッタゴン間高速道路建設など大規模インフラ事業の遅延に繋がるとの懸念を示した。</p> <p>(11) 【29日 Daily Star 紙】 UCweb社(中国系インターネット企業)が実施した調査では、バングラデシュのインターネット利用者の約70%は毎日1時間以上SNSにアクセスしていることが明らかになった。同社は12月9日と10日に、web上で調査を実施し7,395名から回答を得た。またインターネット利用者の85%がFacebookにアクセスしており、これにWhatsApp(36.2%)とViber(29%)が続く。更にFacebook利用者の内、50.6%がFacebook上で300名以上の「friend」を有している他、SNS利用者の10名中6名がオフ会でオンライン上の友人と実際に会う可能性を示唆している。</p> <p>(12) 【30日 Financial Express 紙】</p>
--	--

	<p>軽工業は、その大きな潜在性とは裏腹に産業人材の不足により、マクロ経済に対し大きな寄与が出来ていない。29日、バングラデシュ工業オーナー協会 (Bangladesh Engineering Owner Association) の Razzaque 会長は、同協会が実施した職業訓練プログラムの修了式に出席し「バングラデシュには 4,000 社の軽工業企業が存在し、20 万人の労働者が働いているが、軽工業の発展には更なる人材育成が必要だ」と述べた。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】 2015 年 11 月の歳入額は、前年同月比 24%増の 1 億 2,068 万タカに達した。また今年度当初 5 か月間 (2015 年 7 月～11 月) の歳入総額も、前年同期比 14%の 5 億 4,407 万タカに上がった。一方、バングラデシュ政府は、今年度は積極財政を敷いていることから、当初 5 か月間の歳入目標額は 6 億 2,715 万タカとしており、実際の歳入額は目標額には達していない。</p> <p>(2) 【9日 Daily Star 紙】 8日、歳入庁は米の輸入に掛かる関税を、現行の 10%から 20%に引き上げることを決定し、即日施行した。これは今年度、米価が低迷しており、農村世帯を保護することが目的。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【10日 Daily Star 紙】 9日、Global Financial Integrity (アメリカの調査機関) は、「Illegal Financial Flows from Development Countries:2004-2013」を発表し、この中でバングラデシュにおける違法な資金流出 (Illegal Capital Flight) は、2013 年は前年比 33.78%増の 96.6 億ドルに上ったことを明らかにした。この金額は 2013 年の GDP の約 6%にあたる他、輸出総額の 3 分の 1 に相当する。</p> <p>(2) 【10日 Daily Star 紙】 10月の物価上昇率は前月比 0.14%減の 6.05%に留まり、今年一番の低い水準となった。食品部門は 0.17%減の 5.72%、非食品部門は 0.11%減の 6.56%であった。Kamal 計画大臣は「乾季野菜が市場に出回るようになれば、食品に関する物価上昇率は更に下落する可能性がある」と述べた他、中央銀行関係者は「原油やガスにおける国際市場価格の安定が非食品部門の物価に繋がっている」との見方を示した。</p> <p>(3) 【11日 Financial Express 紙】 銀行セクターの貸出残高に占める民間セクター向け割合が、9月の 12.88%から 10月は 13.22%に増加した。中央銀行関係者は「2015年1月から3月まで続いた政治的不安定の後、民間セクター向け債権割合は緩やかな増加傾向にある」と述べた他、民間銀行幹部は「最近の工作機械の輸入増加が影響している」との見方を示した。実際、工作機械の輸入額は9月の 1 億 5,347 万ドルから、10月は 3 億 1,655</p>

	<p>万ドルと 1.6%増加していた。</p> <p>(4) 【16日 Daily Star 紙】 BMI Research 社（ロンドン）の調査によれば、バングラデシュの銀行セクターにおける不良債権比率（総貸出残高に占める不良債権の割合）は 9.7%であり、アジア地域でパキスタンに次いで高い水準。これは貸出総額の 28.3%を占める国有銀行における不良債権比率が 32.8%と高いことが原因。</p> <p>(5) 【21日 Financial Express 紙】 20 日、保険規制局（Insurance Development and Regulatory Authority）は、インド国営の Life Insurance Corporation（LIC 社）に対し営業ライセンスを交付した。同ライセンスの交付により LIC 社は間もなく生命保険の営業活動を開始すると見られている。尚、現在バングラデシュの生命保険会社は 32 社が存在する。</p>
投資	<p>(1) 【21日 Daily Star 紙】 携帯電話企業の Robi 社は、3G サービスの拡大の為に IFC より 9,900 万ドルの融資を借りた。20 日、Robi 社と IFC は融資合意書に署名をした。返済期間は 7 年間（内 2 年間は返済猶予期間）で、金利は LIBO プラス 2%に設定された。Robi 社は現在 2,830 万人の契約者を抱えており、市場の 21.43%を占めている。</p> <p>(2) 【25日 Daily Star 紙】 携帯電話の Robi 社及び Airtel 社の合併に関し、Joy 首相顧問（ICT 政策担当）は、関係省庁に対し同合併に関する①パブリックコメントを募集すること、及び②携帯電話企業の合併に関する国際的優良事例に従うとの指示を出した。両社の合併は、9 月 9 日に合併交渉入りが発表され、同月 17 日に関係省庁に申請が出されていた。</p>
貿易	<p>(1) 【4日 Daily Star 紙】 バングラデシュ政府は 11 月 3 日より麻の輸出を禁止しているが、これは当初 1 か月間の時限措置の予定であったが無期限に延期された。麻の年間生産量は 580 万 bale (1bale=218kg) あり、この内 380 万 bale が国内消費に回されている。一方、2010 年に Mandatory Jute Packing Act が制定され、商店や政府機関では麻製の袋を使用することが義務付けられている。このような背景から、今年は追加で 170 万～190 万 bale の麻の国内使用が見込まれ、今般の措置に繋がった。</p> <p>(2) 【7日 Daily Star 紙】 2015 年 11 月の輸出額は前年同月比 13.63%増の 27.5 億ドルに達した。これは縫製製品の輸出額が前年同月比で 14.43%ほど伸び 22.2 億ドルに達したことが主な要因。縫製業輸出協会（Bangladesh Garment Manufacturers and Exports Association : BGMEA）によれば「我々は以前にも増して工場における労働環境の改善に取り組んで</p>

	<p>おり、欧米の顧客を引き留める努力を続けている。」と述べた。</p> <p>(3) 【10日 Daily Star 紙】 HSBC が実施した 2015 年後期の Trade Confidence Survey において、 バングラデシュは調査対象 25 か国の中でトップであった。この調査 では、貿易に従事する 6,300 社に対し、今後 6 か月間の貿易量の見込 みを問うもので、6,300 社中の 3 分の 2 が今後のバングラデシュとの 取引量を増加させると回答した。</p> <p>(4) 【18日 Daily Star 紙】 今年 9 か月間（2015 年 1 月～9 月）のスマートフォンの輸入台数は、 3G によるインターネットの広まりを受け、前年同期比 28.25%増の 404.5 万台に達した。Symphony 社が 177.7 万台を輸入し、市場の 44% を占めている。業界関係者は「去年は 400 万台の輸入であったが、今 年は最終的に 600 万台に到達するだろう」との見方を示した。</p> <p>(5) 【18日 Daily Star 紙】 EU はバングラデシュから輸出されるエビに関する規制を緩和するこ とを決定した。2008 年以降、エビの輸出業者は、政府による品質証 明書を添付することが義務付けられていたが、今後はこの必要がなく なる。（バングラデシュのエビ輸出の内 70%は EU 向け）</p> <p>(6) 【18日 Daily Star 紙】 バングラデシュにおける木綿の輸入量は、中国を抜いて世界第一位に なる見込み。バングラデシュでは 2016 年 7 月末までに 575 万 bale （1bale=218kg）の木綿が輸入される予定である一方、中国では 550 万 bale に留まる見込み。</p> <p>(7) 【22日 Daily Star 紙】 WTO の合意により、バングラデシュの C 型肝炎患者は今後 17 年以上 に渡って、国際価格の 125 分の 1 の価格で薬を購入することが出来る。 WTO において、バングラデシュを含む後発発展途上国は 2033 年まで 製薬特許の適用が免除されることで合意された。バングラデシュ政府 からは Tofail 商務大臣率いる派遣団が、12 月 15 日～18 日までナイ ロビで開催された WTO 閣僚会合に参加していた。</p> <p>(8) 【27日 Daily Star 紙】 縫製業界は、空港のセキュリティー強化により、輸入した原材料の通 関が遅延する問題に直面している。縫製業輸出協会（Bangladesh Garment Manufactures and Exports Association : BGMEA）の Rahman 会長は「以前は 1 日で通関していた物資が、現在は 2 週間以上掛かっ ている上、紛失することもある。」と述べた。これに対し空港幹部は 「かかる問題は空港の人手不足が原因であり、関係部署の増員を計画 している」と述べた。</p>
雇用問題 海外出稼ぎ	<p>(1) 【3日 Daily Star 紙】 2015 年 11 月の海外送金受取額は、前年同月比 3.39%減の 11.4 億ド</p>

<p>社会保障</p>	<p>ルに留まった。また今年度当初5か月間（2015年7月～11月）の海外送金受取総額でも、同0.68%減の61.7億ドルとなった。海外送金は農村地域における貧困削減のみならず、健全な国際収支を保つ上でも重要な役割を果たしており、海外送金額の伸び悩みは政策当局の心配の種となっている。</p> <p>(2) 【28日 Daily Star 紙 & Financial Express 紙】 2015年（12月23日まで）の新規海外出稼ぎ労働者数は、前年比30%増の538,667人に達した。海外出稼ぎ労働者の約80%が中東湾岸諸国に派遣されており、オマーン（全体の23%）が最も多い。また女性の出稼ぎ労働者数が19%増加したことも今年の大きな特徴であった。</p> <p>(3) 【31日 Daily Star 紙】 バングラデシュで働く外国人労働者数は、産業人材の不足を背景に増加傾向にある。2009年9月から現在まで7,030名に対し労働ビザが新規に発給されている他、2015年1月から9月でも1,574名に対しビザが発給されている。外国人労働者の多くは縫製産業のマネージャー、販売責任者、縫製責任者など管理職として雇用されており、インド、スリランカ、韓国、台湾およびフィリピンなどから来ている。</p>
<p>対日関係 日本企業</p>	<p>(1) 【12日 Daily Star 紙】 テイ・エス テック株式会社は、四輪車用シートの製造の為に Admajee 輸出加工区に進出することを発表した。同社は2016年後半から操業開始見込みであり、500名の従業員を雇用し年間30万個のシートを製造する予定。</p> <p>(2) 【14日 Daily Star 紙】 13日、日本政府とバングラデシュ政府は、総額11.1億ドルに上る円借款の融資合意書（Loan Agreement）に署名した。この融資における金利は0.01%で返済期間は40年間（当初10年間は返済なし）となっている。また、この融資は、「外国投資促進プロジェクト」や「都市部における建物安全性プロジェクト」など6つのプロジェクトで活用される予定。</p> <p>(3) 【22日 Daily Star 紙】 日本有数の自動車搭載用バッテリーメーカーである株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーションは、現地企業と組んでバングラデシュ市場に進出する。同社は1,500万ドルを投資し生産工場を設置しており、2016年1月から生産を開始する見込み。この工場では月間30,000個の自動車用バッテリーが生産可能。</p>
<p>社会</p>	<p>(1) 【12日 Daily Star 紙】 12日、パドマ橋建設の本格工事が開始された。記念式典には Hasina 首相も出席した。パドマ橋はダッカと南西部の中間に位置する全長6.15kmの巨大な橋である。現在ダッカから南西部の中心都市クルナ</p>

	<p>まで車で 13 時間掛かっているが、この橋の完成により 3 時間半に短縮する他、南西部の GDP を 1.7%押し上げる効果が期待されている。</p> <p>(2) 【21日 Daily Star 紙】 20 日、国連開発計画 (UNDP) から 2015 年の人間開発指数が発表された。バングラデシュの人間開発指数は 0.57 であり、188 ヶ国中 142 位だった。これはスリランカ (73 位) やインド (130 位) よりも低い順位だった。一方、バングラデシュの同指数は 1990 年から 2014 年の間に年平均で 1.64%の改善が見られており、これはスリランカ (0.83%) やインド (1.48%) よりも高い。</p> <p>(3) 【23日 Daily Star 紙】 政府はここ数年、土地に関する数多くの法律を策定してきたにもかかわらず、人々の土地保有権の確立には至っていない。現在でも総人口の 59%が土地なし層である上、訴訟の 80%以上は土地絡みである。また土地に関連する法律は 146 本にも上るが、これらの法律は複雑である上、互いに反目し合う条項も存在する。更に土地訴訟の解決までには平均 9.5 年が掛かると言われている。</p> <p>(4) 【24日 Daily Star 紙】 23 日、関税当局は 20.5kg (1 億タカ相当) の金塊を密輸しようとした 6 名 (内 2 名はマレーシア人) を逮捕したことを明らかにした。この事件も含めて、今年は合計 209kg の金塊が空港で押収されている。バングラデシュでは金 100g までは無税で持ち込むことが出来る。(尚、バングラデシュ全土で 3 万店の貴金属店が存在する)</p> <p>(5) 【31日 Daily Star 紙】 30 日、234 の地方都市で選挙が実施され、与党アワミ連盟が 179 の都市で「地滑り的な勝利」をおさめた。これに対し野党 BNP は僅か 21 都市での勝利に留まった。一方、80 都市で不法行為が見られた他、与野党支持者の衝突により 1 名が死亡、100 名以上が負傷した。</p>
--	--

(了)